

事業者行動計画書（変更計画書）

2021年 8月 2日

（宛先）

滋賀県知事 殿



提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）  
滋賀県草津市野路東七丁目4番38号

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）  
タカラバイオ株式会社  
代表取締役 仲尾 功一

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 第20条第3項・第20条第4項  
第22条第1項→第22条第2項において準用する同条例第20条第4項  
の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）	タカラバイオ株式会社
事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号

1 事業所の概要

事業所の名称	タカラバイオ株式会社					
事業所の所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号					
主たる事業	細分類番号	1	6	5	1	医薬品原薬製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

## 1 計画期間

計画期間	2021年度(令和3年度)～2023年度(令和5年度)
------	-----------------------------

## 2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

弊社 タカラバイオ株式会社は宝グループの一員として、地球環境の保全と事業活動の調和を経営の重要課題のひとつとし、環境マネジメントシステムを構築して継続的な改善に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。

1.環境に関連する法令および組織が同意するその他の要求事項を順守します。

2.宝グループが行う事業活動の中、以下の項目について重点的に取り組みます。

①環境汚染の予防に努めます。

②省エネ・省資源を推進し、持続可能な資源の利用に努めます。

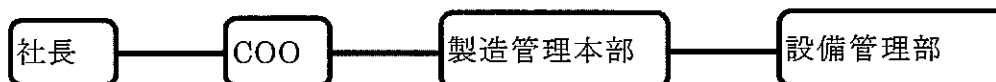
③温室効果ガスの排出量を削減し、気候変動の緩和に努めます。

④生物多様性や生態系の保護・保全に関わる活動を推進、支援します。

⑤容器包装の3Rへの対応など、環境に配慮した商品開発に努めます。

3.環境活動への取り組みや環境パフォーマンス情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。

## 3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



低炭素化の主たる活動である エネルギー管理、省エネルギー推進などの実務については製造管理本部内の設備管理部が担当し社内 他部署とも連携し進めています。

また社内だけでなくグループ会社の宝ホールディングスとも情報共有しております。

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

- ・新規建屋の照明及び避難誘導等のLED化
- ・一般空調機器更新時に高効率のインバーター機器の導入
- ・特殊空調機器の更新時高効率機器の選定と容量見直し
- ・老朽化したフリーザー等の機器を高効率機器に更新
- ・節電に対する社員の意識向上へ向け周知徹底
- ・社用車の削減とハイブリッド車へ入替え
- ・コージェネレーションシステム導入

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	プロセス改善対策	ジェネリンク設備増設によるコージェネシステムの廃温水の有効利用	～ 2021年
2	プロセス改善対策	再生可能エネルギー(太陽光発電など)の導入を検討	～ 2024年
3	設備導入対策	一般空調及び特殊空調機器更新時に高効率機器を導入	随時
4	設備導入対策	社用車の更新時にハイブリッド車及びEV車導入を検討	随時
5	運用改善対策	節電に対する社員の意識向上へ向けての周知徹底	随時
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1	HFC	老朽化したフリーザー更新時に高効率機器やノンフロン機器の選定。フリーザーの適正廃棄	随時
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標 : 原単位に対するエネルギー使用量の前年比1%削減。

目標設定の考え方 : 省エネ法の目標設定に準じる。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により 達成しようとする目標	実施スケジュール
1	運用改善対策	焼却処分している廃棄物の固形燃料(RPF)化	～ 2022年
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			